

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 ニチレキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5011 URL <https://www.nichireki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小幡 学  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 後藤 武士 (TEL) 03-3265-1511  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	57,283	1.7	5,554	△17.7	5,964	△15.1	5,047	△0.3
2022年3月期第3四半期	56,325	13.1	6,752	1.2	7,027	△1.6	5,060	2.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,841百万円(△2.4%) 2022年3月期第3四半期 4,961百万円(△7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	165.12	—
2022年3月期第3四半期	165.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	90,911	71,632	78.8
2022年3月期	88,425	68,075	77.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 71,632百万円 2022年3月期 68,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	42.00	42.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	5.1	9,000	5.1	9,300	△0.1	7,200	5.7	235.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	31,685,955株	2022年3月期	31,685,955株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,117,507株	2022年3月期	1,117,337株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	30,568,520株	2022年3月期3Q	30,555,107株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、物価の上昇、部品・資材等の供給制約が続く中、新型コロナウイルス感染対策と経済活動に対する各種政策の効果等により、景気は緩やかに持ち直しました。ただし、ウクライナ情勢の長期化と世界的な金融引き締めが続き、内外金利差拡大に伴う為替相場の変動や海外景気の下振れ、更には中国における感染動向への警戒も強まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、防災・減災、国土強靱化対策など建設需要の高まり等を背景に公共投資は底堅く推移しているものの、業績に大きな影響を与える原油価格や為替相場の動向等に注視を要する状況が続いております。

当社グループはこのような環境の中で、中期経営計画『しなやか2025』の2年目として、迅速かつ確かな意思決定のもと、組織一丸となって持続可能な企業グループとして成長していくことを目指し、各施策に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は57,283百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は5,554百万円（前年同四半期比17.7%減）、経常利益は5,964百万円（前年同四半期比15.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、退職給付制度改定益1,202百万円を特別利益に計上したことにより5,047百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 「アスファルト応用加工製品事業」

アスファルト応用加工製品事業につきましては、原材料価格上昇への対応に加え、「長寿命化・高性能化」や「環境負荷低減」などに寄与する高付加価値製品の設計・受注活動の推進により販売拡大に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間の売上高は20,834百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益は4,930百万円（前年同四半期比10.7%減）となりました。

#### 「道路舗装事業」

道路舗装事業につきましては、防災・減災、国土強靱化対策等に係る工法提案からの受注活動と工事の着実な執行に加え、資材等の価格高騰への対応を進めてまいりましたが、一部の地域で例年より早い時期の降雪等、天候不順の影響による工事進捗の遅れがありました。当第3四半期連結累計期間の売上高は36,216百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント利益は2,880百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

#### 「その他」

その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は232百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は167百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて2,485百万円増加し、90,911百万円となりました。これは、退職給付に係る資産が1,176百万円、電子記録債権が947百万円、投資有価証券が909百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,071百万円減少し、19,278百万円となりました。これは未払法人税等が1,490百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,557百万円増加し、71,632百万円となりました。これは、利益剰余金が3,763百万円増加したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年11月8日発表の数値を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,001	27,528
受取手形、売掛金及び契約資産	20,797	21,035
電子記録債権	2,225	3,173
商品及び製品	1,420	1,153
未成工事支出金	256	528
原材料及び貯蔵品	1,198	1,184
未収還付法人税等	14	231
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	167	-
デリバティブ債権	956	431
その他	580	527
貸倒引当金	△59	△58
流動資産合計	56,561	55,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,732	7,068
機械装置及び運搬具（純額）	3,338	3,177
土地	10,846	10,859
リース資産（純額）	274	240
建設仮勘定	601	799
その他（純額）	591	625
有形固定資産合計	22,384	22,770
無形固定資産		
その他	685	618
無形固定資産合計	685	618
投資その他の資産		
投資有価証券	4,476	5,386
関係会社出資金	715	770
関係会社長期貸付金	390	-
退職給付に係る資産	-	1,176
繰延税金資産	335	232
長期預金	2,620	3,520
その他	700	753
貸倒引当金	△444	△54
投資その他の資産合計	8,794	11,786
固定資産合計	31,864	35,175
資産合計	88,425	90,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,077	10,302
電子記録債務	1,787	2,135
短期借入金	1,300	1,300
未払金	1,469	1,015
未払法人税等	1,985	495
契約負債	211	368
賞与引当金	1,081	487
その他の引当金	205	75
その他	1,322	1,705
流動負債合計	19,441	17,886
固定負債		
長期未払金	5	0
リース債務	193	153
長期預り金	48	48
繰延税金負債	517	1,055
退職給付に係る負債	4	-
資産除去債務	138	134
固定負債合計	908	1,392
負債合計	20,349	19,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	3,681	3,681
利益剰余金	59,235	62,999
自己株式	△659	△660
株主資本合計	65,177	68,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,889	1,989
繰延ヘッジ損益	332	133
為替換算調整勘定	109	223
退職給付に係る調整累計額	566	345
その他の包括利益累計額合計	2,897	2,691
純資産合計	68,075	71,632
負債純資産合計	88,425	90,911

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	56,325	57,283
売上原価	42,523	44,377
売上総利益	13,802	12,906
販売費及び一般管理費	7,050	7,352
営業利益	6,752	5,554
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	138	117
持分法による投資利益	15	-
為替差益	5	101
デリバティブ利益	-	446
デリバティブ評価益	94	-
その他	33	19
営業外収益合計	292	687
営業外費用		
支払利息	7	5
持分法による投資損失	-	26
デリバティブ評価損	-	237
その他	9	8
営業外費用合計	17	277
経常利益	7,027	5,964
特別利益		
固定資産売却益	11	20
投資有価証券売却益	296	-
関係会社出資金売却益	-	27
受取補償金	119	18
退職給付制度改定益	-	1,202
その他	68	103
特別利益合計	496	1,372
特別損失		
固定資産除却損	15	213
災害による損失	10	16
特別修繕費	119	-
その他	3	4
特別損失合計	148	234
税金等調整前四半期純利益	7,375	7,102
法人税、住民税及び事業税	1,852	1,264
法人税等調整額	461	791
法人税等合計	2,314	2,055
四半期純利益	5,060	5,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,060	5,047

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,060	5,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	99
繰延ヘッジ損益	80	△199
為替換算調整勘定	13	28
退職給付に係る調整額	△50	△220
持分法適用会社に対する持分相当額	55	85
その他の包括利益合計	△99	△205
四半期包括利益	4,961	4,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,961	4,841



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職金制度の改定)

当社及び一部の連結子会社は、2022年4月1日より退職給付制度の一部について確定拠出年金制度に移行しております。

本制度の移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 2016年12月16日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 2007年2月7日)を適用しております。本移行に伴い、当第3四半期連結累計期間において、退職給付制度改定益1,202百万円を特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,915	37,180	56,096	229	56,325	—	56,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,754	0	8,755	52	8,807	△8,807	—
計	27,670	37,180	64,851	282	65,133	△8,807	56,325
セグメント利益	5,519	3,478	8,997	170	9,167	△2,415	6,752

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等であります。

2 セグメント利益の調整額△2,415百万円にはセグメント間取引消去△186百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,228百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,834	36,216	57,051	232	57,283	—	57,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,813	—	7,813	60	7,873	△7,873	—
計	28,648	36,216	64,864	292	65,157	△7,873	57,283
セグメント利益	4,930	2,880	7,811	167	7,978	△2,424	5,554

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等であります。

2 セグメント利益の調整額△2,424百万円にはセグメント間取引消去△71百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,353百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計		
一時点で移転される財	18,915	—	18,915	17	18,933
一定の期間にわたり移転される財	—	37,180	37,180	—	37,180
顧客との契約から生じる収益	18,915	37,180	56,096	17	56,113
その他の収益	—	—	—	212	212
外部顧客への売上高	18,915	37,180	56,096	229	56,325

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等  
であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計		
一時点で移転される財	20,834	—	20,834	18	20,853
一定の期間にわたり移転される財	—	36,216	36,216	—	36,216
顧客との契約から生じる収益	20,834	36,216	57,051	18	57,069
その他の収益	—	—	—	214	214
外部顧客への売上高	20,834	36,216	57,051	232	57,283

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等  
であります。